

稲毛海浜公園自然観察会

木の実や葉っぱで遊ぼう！

井上 千代子(大網白里市)

日 時：2025 年 11 月 22 日（土）10～12 時 天気：快晴

場 所：稲毛海浜公園（千葉市）

参加者：18 名（大人 10 名、子ども 8 名）

指導員：中田・萩・平田・井上（オブザーバー星野）

管理事務所職員 1 名

飛び切りの好天に恵まれた晩秋の観察会になりました。

寒暖差のある朝夕が続いていたので、参加者は厚着で集合でしたが、暖かい秋の日差しを浴びながら公園内を観察していくうちに、すっかり薄着になっていました。幼児、小学 1 年生、小学 3 年生からご両親やお祖父ちゃん達 18 名で当初より参加数が増えました。指導員の紹介後、今回のテーマにあわせたクイズにチャレンジ。各自が葉っぱや木の実を入れる袋を持ち、班分けせずに観察スタート。集合場所のモミジの枝をゆすぶって落ちてくる種子に歓声があがり、足元に咲いているヒメツルソバの可愛い花の観察等視線を上下に動かしながら、普段気がつかない植物達に関心が移っていきました。常緑樹の林に進み、クスノキ科のシロダモ、ヤブニッケイの葉、雄花、雌花、赤や青の実を集め、また葉の香りをちぎって確かめました。「なぜこんな香りがするのでしょうか」との講師からの問いに、むしろ大人達が真剣に楽しみながら考えていました。マテバシイ、ウバメガシ、スダジイのドングリ（殻斗の違いも観察して）、タンキリマメの不思議なサヤにピカピカの小さな実、アカメガシワの大きな黄色い葉、トベラの赤い実、アオギリの舟形の独特な実、クロマツのマツボックリ、ツバキの実、ヘクソカズラの実（匂いにも個性的な表現が出てきました）、ハマヒサカキの花や色とりどりの実等を各自袋に入れて、管理事務所に向かいました。

後半は、事務所 2 階の会議室で、観察や散策をして集めた種々の木の実や葉っぱを使い、木の実図鑑とステンドグラス作りです。きれいな紙の画版に思い思いに接着性の粘土で貼り付けて、図鑑を作り上げていきました。周りの様子を見ながら作り上げていく子、自分の世界に入りどんどん作り上げていく子、子どもとは別に自分の図鑑やステンドグラスを楽しそうに制作する大人達。今回は、出来上がった作品を皆の前で発表してもらいました。普段見慣れている木の実や葉っぱで、とても楽しい素敵なものが作れることに、大人達が驚いていました。「近くだから… 遠いけど…また来よう」、「とても楽しかったです」の言葉を聞き、様々な事前の準備をされた指導員の皆様に感謝します。

